

# 科学技術社会論学会主催シンポジウム「研究者のキャリアパス」

- 最終更新日 (2006/02/26 Sunday 03:36:29 JST)

科学技術社会論学会主催シンポジウム「研究者のキャリアパス」日時：2004年7月10日(土) 12時30分から午後6時30分会場：東京工業大学大岡山キャンパス 西9号館デジタル多目的ホール 東京都目黒区大岡山2丁目1番1号 東急目黒線(旧・目蒲線)または東急大井町線、大岡山駅下車徒歩5分後援：日本学術会議、日本物理学会、総合研究大学院大学参加費：資料代として1人1000円いただきます。<趣旨>科学・技術を含む学術のほとんどの分野で、研究者のキャリアパスが競争的、流動的な方向へ大きく変動している。研究の活性化を目的とするこれらの改革が、一方ではポストボスドク問題など混乱をもたらしている。現状を正確に把握し、学術の将来設計、社会における研究者の役割、大学院の改革などの観点から問題点を整理し、コンセンサスを得られるような提言を目指す。<プログラム>12:30-12:40 「このシンポジウムのねらい」平田光司(総合研究大学院大学)12:40-13:00 「研究者のキャリアパス問題とは何か」小林信一(筑波大学)13:00-13:20 「研究者育成策の現状、および検討課題」倉持隆雄(文部科学省)13:20-13:40 「博士課程の悪循環 産学連携の視点から」西村吉雄(技術ジャーナリスト、東京工業大学監事)13:40-14:00 質疑応答14:00-14:20 休憩14:20-14:35 「素粒子・原子核若手の現状」佐藤丈(埼玉大学)14:35-14:50 「生物学若手の現状」白楽ロックビル(お茶の水女子大学)14:50-15:05 「女性研究者の現状」郷通子(長浜バイオ大学)15:05-15:20 「『理系白書』にみるキャリアパス問題」元村有希子(毎日新聞)15:20-15:40 質疑応答15:40-16:00 休憩16:00-17:00 問題提起(公募により6件程度)17:00-17:20 休憩17:20-18:20 討議18:20-18:30 「研究者のキャリアパスとSTS」塚原修一(学会会長・国立教育政策研究所)18:40-懇親会(参加費2000円) 東京工業大学生協第一食堂(講演者、講演題目は変更される可能性もあります)<参加お申し込み>参加ご希望の方は、6月30日までに、下記メールアドレスに(1)氏名 (2)所属 (3)科学技術社会論学会のメンバーか否か(4)懇親会に参加する、しないを送ってください。また、さらに(5)シンポジウムに参加するだけでなく、積極的に問題提起等なりたい方は、発表タイトルと概要(500-1000文字程度)をお知らせください(講演録の一部としてインターネット等で公開する方向で検討します)。ご意見を発表していただけるかは、全体のバランス等を主催者側で考慮した上で7月1日以降メールでお知らせします。連絡先STS学会シンポジウム係 sts-symposium@esp.titech.ac.jp